

～在留邦人の皆様へ～

(件名)

デング熱の流行について (その2)

平成 25 年 10 月 1 日  
在インド日本国大使館

1. 先の 8 月 19 日付けお知らせ「在留邦人の皆様へ (デング熱の流行について)」において、インド国内におけるデング熱の流行について注意喚起を行ったところですが、その後 9 月中だけでデリー・グルガオン地域在住の 10 人以上の在留邦人の方がデング熱と診断され、このうち数名が血小板輸血を受けられたとの情報に触れています。
2. 当地複数報道によれば、過去最大のデング熱の報告数を記録した昨年 (50, 222 例) の同時期に比し、今年のデング熱の報告数はさらに多いとされ、インド保健・家庭福祉省の発表では、インド国内では今年に入りすでに 32, 000 例以上のデング熱が報告されています。現在、デリー市内の医療機関の多くは、デング熱患者の急激な増加により満床の状態となっています。
3. 以上を踏まえ、在留邦人の皆様におかれましては、デング熱の原因となる蚊に刺されないように引き続きご注意ください。また、発熱や頭痛、眼窩痛 (眼の奥の痛み)、関節・筋肉痛などデング熱の症状といわれる体調不良を自覚された場合には、すみやかに医療機関を受診していただくことをお勧めします。

○在インド日本国大使館 「在留邦人の皆様へ (デング熱の流行について)」(8 月 19 日付)

<http://www.in.emb-japan.go.jp/PDF/dengue.pdf>

○国立感染症研究所 感染症情報センター 感染症の話「デング熱」

[http://idsc.nih.gov/idwr/kansen/k04/k04\\_50/k04\\_50.html](http://idsc.nih.gov/idwr/kansen/k04/k04_50/k04_50.html)

○厚生労働省検疫所 FORTH 海外で健康に暮らすために 「デング熱」

<http://www.forth.go.jp/useful/infectious/name/name33.html>

○外務省 在外公館医務官情報「各論 3. デング熱」

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/medi/kakuron03.html>

○世界保健機構 (WHO) 「デング熱」

<http://www.who.int/topics/dengue/en/>

○米国疾病予防センター (CDC) イエローブック「デング熱」

<http://wwwnc.cdc.gov/travel/yellowbook/2014/chapter-3-infectious-diseases-related-to-travel/dengue>